

12月

教会教育室だより

宣教部 教会教育室 2022.12.13 発行



日本バプテスト連盟のホームページでご覧いただけます



西関東地方連合教育研修会に参加して

鈴木千栄(浜松教会)

教会教育研修会が10月30日(日)13~15時でZoomにて開催された。7教会39名が出席。プログラムは、新しくなる『聖書教育』について、金丸真氏(これ連)より「なぜ新しくなるのか」を連盟の財政課題と機構改革の必要性から分かり易くお話し頂いた。また、富田直美氏(教会教育室長)より、新しくなる内容について説明があった。来年4月から月刊化されるものは、バプテスト誌の頁の増えた感じ…と想像力を働かせて聞き、教会学校だけでなく毎日の生活の中で活用できることが期待された。

次に、いろいろな教会学校の事例として、三つの教会から発表があった。静岡教会は、教会学校の始めにジュニア科とシニア科の世代を超えて一緒に賛美する時間をもち、科ごとにリーダーと補佐をおいて学ぶ様子を紹介。三島教会は、開始前にリーダーが集まり準備、壁に向かって座る等のコロナ対策、教会学校フェスティバルを催してスタンプラリー等、子どもから大人まで学びながら交流する様子を発表。横浜戸塚教会からは、会堂の広さや時間・人間関係の課題のため教会学校活動を取り止め、その代わりに始まったミニストーリーについてのお話があった。キッズは親子礼拝、ユースは月1回聖書の学び等、成人は週に2回は対面で、隔週でZoomを活用してテキストを学ぶ等。

その後、ブレイクアウトルームの機能を使い、4つのグループに分かれて分かち合いの時を持った。私が参加したグループは、リードを堀野浩嗣氏(横浜戸塚教会)、清水栄光、三島、浜松のメンバー。コロナ下で教会学校出席者が減った境遇は同じだが、とりわけ浜松は少ないことが課題。堀野氏より「ミニストーリーは、できる時に、やろう!と声をかけて二人から始まった。段々と人が集まって増えてきた。」との話を伺い、熱意を持って一步を踏み出すことが大事で、主によって加えて与えられる恵みに気付かされた。共に学ぶ人が与えられるよう祈るばかりだったが、各教会の活動を知ることで、新しい視点を与えられた。感謝をもって今後の取り組みに役立てたいと願う。



静岡教会の賛美の時間



三島教会の実例紹介から
~教会学校フェスティバル



研修会を実施して~重ねた準備が次につながる予感

宮西千晴(富士吉田教会)

研修会の開催にあたり、連合の諸教会の教会教育の担当の方々に事前アンケートを取り、牧師会でそれぞれのニーズを探るところから始めた。「他の教会の教会学校の様子を知りたい」「教会学校を活気づけたい」「新『聖書教育』について知りたい」という要望、「教会学校がなかなか定着しない」という悩み、またコロナ以降できていない連合内の交わりの機会になれたらという希望も出された。

プログラムはこれらに答える形で作成(上記、鈴木千栄さんの感想を参照)。課題は、参加者が個々人でズームに繋がれるかどうかだったが、研修会を礼拝後の時間に設定し、教会ごとにzoom参加をすることでクリアした。おかげで、研修会が終わってからもそれぞれの教会で感想を語り合うなど、しばらく分かち合いがなされたのは思わぬ収穫だった。

今回の研修会には、教会教育専門委員、「これからの連盟検討委員会」委員、新『聖書教育』の編集人、教会教育室スタッフなど多くの方々にご協力を頂いた。そして、富田室長からのアドバイスで、全国の地方連合の教会教育の委員の方々にもお声がけをしたところ、南九州や神奈川連合からも参加の申し出を頂いて感謝だった。反省点は多々あるが、新『聖書教育』に期待を持てたこと、また、事例紹介を通じて自分たちと似た悩みで共感し、その中で創意工夫をして新しい独自のスタイルを切り開いている姿に励まされたことは感謝だった。何より、準備のために牧師会を何回か重ねたことで、それぞれが抱えている課題を共有できたことはとても有意義だったと思う。ここから相互に協力し合える計画、さらに連合の枠を超えた形でも何かできるのではないかと予感している。



人の輪が広がって学ぶ時

富田直美(教会教育室室長)

この度の研修会は、西関東地方連合の協力をいただき「機構改革」後を意識して、連合主催の研修会を全国に案内する試みを行いました。西関東地方連合は、研修会前に発生した台風15号の影響で、断水や停電被害に見舞われた教会もあり、心配しながら富士吉田教会に赴きましたが、罹災した教会から参加された方々と顔を合わせることができて励まされ、うれしく思いました。停電した教会から断水している教会へ飲料水が運ばれるなど、繋がりが支え合う姿を身近に感じる機会となりました。さらにそれぞれの教会の報告を通して、多様な教育のあり方を尊重し、聴き合うことがとても大事だと学ぶ機会をいただきました。

人の輪が広がって学ぶ時、それを研修会と呼ぶことができると思います。準備する仲間と課題を分かちあったなら、準備の時から研修会は始まり、諸教会にとって身近なものとなっていくように感じられました。これからも、多様な研修会が生み出され、軽やかに学び合うことができますように。